

公益財団法人北九州市芸術文化振興財団 令和7年度 第4回理事会議事録

1 日 時	令和7年11月25日(火) 10時00分～11時30分
2 会 場	北九州市小倉北区室町一丁目1番1号 J:COM 北九州芸術劇場 6階 セミナールーム
3 理事の現在数	理事長1名、理事8名 合計9名
4 出 席 役 員	<p>理 事</p> <p>久保山 雅彦、大野 弘、古浦 修子、郷田 郁子 羽田野 隆士、森 茂樹、龍 亜希 篠崎 史紀氏は、W e b会議システム（利用サービス名：Zoom）を利用して参加 以上8名 (欠席 辻田 淳一郎 以上1名)</p> <p>監 事</p> <p>中村 彰雄、吉水 請子 以上2名</p>
5 議 事 事 項	(1) 報告事項 ・令和8年度演目について ・寄付制度について
6 議事の経過 及び発言趣旨	定足数を満たしていることの確認、篠崎理事がW e b会議システムを利用し理事会に参加する旨の報告がなされ、当該W e b会議システムについて双方の意見伝達が適時的確に出来る仕組みとなっていることを出席者全員で音声・映像にて確認後、定款に従い理事長が議長となり議事を進行
理事長	本日は、「令和8年度 演目」について、事務局より説明を受けた後、皆さまよりご意見を伺いたいと思います。 では、事務局説明をお願いします。
	[事 務 局 説 明]
理事長	それでは、以上説明につきまして、ご意見を頂戴したいと思います。
理 事	一年度分の演目は概ね決まっていると思いますが、年度の途中で演目が追加されることはあるのでしょうか。

事務局	まだ調整中のものもあります。また、予算の関係上実施できるものと実施できないものもありますので、3月末の理事会を目指して事業を確定してまいりたいと考えております。
事務局	劇場も同様に、劇団側との調整や予算の関係でこれから追加になるものもございます。
理事長	音楽事業については、全体的な感想など、ぜひ篠崎理事にご意見を伺いたいと思います。
理事	<p>非常にバラエティに富んでいる内容だと思います。「響ホールへようこそ！」の未決定なものについては早めに動いた方が良いと思います。</p> <p>北九州国際音楽祭では若い方たちを結構呼んでいるので、そういう方たちがリターンしてくるような演奏会をやると、北九州のクラシック音楽が賑やかになるのではないかと思います。非常に考えられた演奏会ラインナップだと思います。ありがとうございます。</p>
理事長	事務局の方から、5月下旬のジャズピアノまたはチェロ＆コントラバスの進捗状況、検討状況についてご説明をさせてください。
事務局	チェロ＆コントラバスにつきましては、笹沼様、菅沼様にお声掛けさせていただいているところです。ジャズピアノにつきましても、壇阪健登様をご予定しております、まだ調整ができておりません。なるべく早めに調整していきたいと考えております。
理事長	<p>公演の中身によっては、まだ表に出せず、大ホール作品というような書き方をしているものが多いです。カンパニーなどが情報公開しないは限り出せないということもありこういう形となっておりますが、3月の予算理事会ではご説明させていただけると思います。</p> <p>また、広報が先行する場合は、理事の皆さま方には公演について逐次ご報告をさせていただきます。</p>
理事	「育成」・「育つ」など、子供たちに対して非常に力を入れていると感じました。いろいろ工夫を重ねられる中で、特に力を入れている、課題に感じている部分を来年度は工夫していくというようなものがあれば教えていただきたいです。

事務局	<p>音楽事業につきましては、教育委員会からの受託事業で「中学生の鑑賞教室」を行っており、ホールにお越しいただき複数の学校と一緒に観覧をしていただくという公演事業を中心にしております。小学校や幼稚園にも参りますが、どちらかというと公演を中心としたアウトリーチとなっておりますので、直接的に育成をするというところまでは繋がっていないかもしれません。しかし、演奏者の方へは、豊かな心を育成するという意図を伝えさせていただき、ご協力をいただいているところです。</p>
事務局	<p>劇場事業につきましては、「創る」事業で『Re:北九州の記憶』を中学生や小学生の鑑賞教室として教育委員会と協力して計画を立てております。</p> <p>「育つ」では、小中学校特別支援学校へ演劇やダンスのアウトリーチを行っております。また、『高校生のための演劇塾』を継続して行うとともに、高校卒業後の18歳以降の若者層へのアプローチがなかなかできていなかつたということがあり、2024年度から始めました『キタゲキスクール』が3年目と継続しております。こちらについては、引き続き演劇活動を続ける参加者なども出て来ており、意味のある取り組みだと感じておりますので来年度も継続していこうと計画しております。</p>
理事長	<p>劇場や音楽ホールになかなか来ていただけない方、普段来れない方にもぜひ音楽や演劇に触れていただきたいという思いがあり、子供が文化に触れる機会をいかに多く作っていくかというのが私共の課題という風に考えております。</p> <p>今年度からはインクルーシブを意識し、視覚障害者や聴覚障害の方を含め、ハンディキャップがあり気軽に劇場や音楽ホールに来れない方に演劇や音楽を楽しんでいけるかということも課題として取り組んでいきたいと考えております。タブレットの導入や支援サポートが付く公演をいかに持ってくるかということにはなりますが、ハンディキャップのある方が文化芸術に触れていただく機会を徐々に増やしていきたいと意識しております。</p>
理事	<p>親としても意識だったりゆとりがあれば触れさせることが出来るかと思いますが、なかなか余裕がなく連れていくないというところで、学校であつたりハンディキャップのある方は、尚更受けていただく側で配慮していただけることは重要なと思います。ぜひ今後も続けていただきたいと思います。</p>
理事長	<p>人材育成がかなり重要なポイントになってきます。子供たちは輝くものをたくさん持っているので、文化に触れることで才能が伸びていくというところに繋がればと思っております。</p>

理事	文化連盟は32団体あり、バレエなどいろいろな分野があります。もう少し気軽に使える場所をお声がけ提供していただければ、いろいろな方たちをご招待し、多分野で活躍している人達の指導の下で子供たちの育成に協力できるかと思います。伝統文化を知らせていきたいと思っておりませんのでご協力をお願いいたします。
理事長	引き続き、皆さまが気軽に利用していただけるような劇場・ホールになるように考えてまいりたいと思います。 中学校の部活についても地域移行しておりますので、財団としても何か関りが出来るのではないかと思っております。教育委員会とも連携し意見交換していきたいと思います。いただいたご意見について前向きに頑張らせていただきます。
理事	育成事業についてですが、内容をもう少し提示されたらいかがでしょうか。内容自体、何をするかが提示できていないことが多いと思います。 与えるものではなく、考えられるものを作らなくてはいけない、答えのない答えを考える力を若い人たちに付けることが目的なので、公演内容が事前にカリキュラム出来ていなければ、やりたい人がやるという形で終わってしまう気がします。公演内容を出していただき吟味する、そうすると、ものに興味を持つ人を育てるのではなく、答えのないことを一生懸命考えて自主性が出てくる子供たちを育て、音楽や演劇の分野だけではなく自分たちでものを考えて新しいものを作っていくという、全般的に若い人たちの育成と伝承、知識の拡大に繋がっていくと思います。
事務局	劇場のダンスや演劇のアウトリーチ等では、事前に演出家やアーティストの方と共に、子供たちにどういうものを伝えたい・どういう内容にしたいという話を話し合っております。正解がないものもあるので、自由に表現し、普段発言しない子がアウトリーチでは積極的に発言したり、踊ったりということが生まれております。
理事	素晴らしいと思います。
理事	若い人と、しばらく観劇などと離れていたリピーターの方が戻ってくるという事を考えた時に、私自身が大学時代に音楽系の部活をしていて定期演奏会などで中小大規模の劇場を使うことが多かったのですが、最近そういうチラシなどを見かけることが少ないと感じました。 大学時代に良い舞台に乗せていただく、他団体の舞台を見に足を運ぶという経験が学生時代にあると、社会人になってからは同じ舞台でプロが公演す

	<p>ものを見に行く、自分が舞台裏を知っているものを見に行く、後輩を見に行くなど、自分自身の経験として劇場を知ることが継続的に音楽や演劇にかかわり続ける機会になるのではと思いました。</p> <p>若い人たちがお金の面でも厳しいということで、そういう人たちが文化的な活動をする助けになることプラス継続的に人生の中で関わっていく場を持つことで、運営側にとってもメリットや将来性がある継続的な考え方で取り組める事業がないかと思いました。</p>
理 事	<p>大学のサークルなど、団体の数はどのくらいあるのでしょうか。事務局でも把握していただきたいです。</p>
理事長	<p>地元でそういう団体活動をしているところや人たちが活動しやすいような環境を作ることが大切で必要だと思っています。市民会館やホールで貸館のみ行っているところと違う強みはそこにあると思います。</p> <p>特に演劇や音楽については主催事業や人材育成に取り組んでおります。可能な限り、どういう団体が市内で活動されている、戻ってくる可能性があるなどを私共としても勉強させていただきたいです。</p>
事務局	<p>大学のサークルや部活動での貸館ご利用はありますが、劇場側の用途を伝え、大学生への効果的な広報も必要だと思いました。</p>
理事長	<p>今年度、財団が行っているものや寄付なども含めて財団のことをよく知つていただきこうということで、財団パンフレットを制作しました。こういうものを市内の高校や大学に配布し働きかけたいと思います。</p>
理事長	<p>他にご意見がなければ次の議題に移りたいと思います。</p> <p>「寄付制度」について、事務局より説明を受けた後、皆さまよりご意見を伺いたいと思います。</p> <p>では、事務局説明をお願いします。</p>
	<p>[事務局説明]</p>
理事長	<p>私共は、指定管理施設の指定管理料や市・国からの補助金に頼っているところがあります。子供たちへの出前公演やインクルーシブの取り組みをする際には収入に対して支出がかなり多くかかります。文化庁の補助金も年度末に採択通知が届くような状況では、そこから仕込み取り組んでいくことは出来ないところがあります。学校の年度計画も年末や年度初めには動かれるところで、あらかじめ早めに声掛けをしていかないといけないこともあります。そのためには自由度のあるお金を持っていないと新しい取り組みが出来</p>

	<p>ないというような意向があり、経済界や一般の方にご理解を求めるながら寄付をいただき、その財源を使って人材育成などに取り組みたいというところで「寄付制度」を始めました。</p> <p>理事の方にもご意見をいただき、そのご意見を踏まえてどんどんセールスをしていきたいと思っております。</p> <p>それでは、以上説明につきまして、ご意見を頂戴したいと思います。</p>
理 事	<p>文化芸術というのは予算やキャパの問題が気になりますが、個人の寄付をどうアナウンスするのか、どう広報を具体的にしていくのかだと思います。数値目標をつくり、冠など、少し視点を変えて一番苦手なお金の話について具体的にせざるを得ないのでしょうか。</p> <p>キャパについては、ここが使えない場合どうするのかなど。絵を作った以上、具体的にどう実行していくかというところまで見込めば少しずつ成果が出てくるのではないかと思いました。</p>
理事長	<p>企業訪問した際、自社へのメリットや社員募集の関係で自社をいかに知つていただかうかという意味での露出度を求める企業、返礼品やチケットの見返りの話をする企業もありました。</p> <p>冠公演については早めに仕組まないといけないことや、買取り公演など全国を回る公演についてはプロダクションとの関係上付けられないなどもあり、上手くお話が出来ない状況で企業を回らせていただきました。</p> <p>これをしたらこれが出来るなどのメニューを準備し、企業に文化の大切さや人材育成を訴える事を勉強してアプローチしていきたいと思っております。</p>
理 事	ふるさと納税はタッチされてないのでしょうか。
理事長	<p>市の計画が必要なものではあります、文化や鑑賞などのカテゴリーを作つていただければ私たちがその受け皿になる可能性はあります。</p> <p>市とも協議し、公的な資金に頼らない団体になろうと考えております。</p>
理 事	広告宣伝は難しいですか。
理事長	年度途中のため難しい、大きな企業の場合は「既に市に貢献している」と言われるとそれまでのため、中小くらいの企業から始め、出来る限りいろいろな企業に訪問できるようにと思っております。

理事	大きなイベントの際には、主催者に関係者という事で寄付を協力してもらうことは出来ないのでしょうか。
理事長	大きなイベントなど全国を回る演劇などの受け皿としてこちらが用意する貸館では、基本支出は無く、使用料をいただくのみです。使用料は市の条例で決まっており、財団の財源にはなりません。稼働率が上がったとしてもその収入は市へ納めるのみとなります。ただ、稼働率を上げることは財団としての目的でもあります。
理事	先ほど期の途中で来られてもというお話が合ったかと思いますが、これから大きな予算時期に入るかと思います。
理事長	イベント公演や主催公演が発表できるタイミングと企業側の予算のタイミングが合えばお話していきたいと思っております。例えば、私どもが作り上げていく事業、先ほどの『Re:北九州の記憶』などについては先行してご案内と冠のお話も出来ると思います。公演によって色々なアプローチの仕方を考えていきたいと思います。
監事	「寄付制度」がなぜ必要なのかについて、とても分かりやすくご説明いただき理解出来ました。公演収入がわずか1割しかなく、種々助成金で賄われているアウトリーチや出前公演を盛んにやろうとすると支出がかさむため自由度を高くするために、というところは多くの人の共感を得るところなのではないかと思います。
	寄付のお話の際に、「自由度の高いアウトリーチや出前公演等を皆さん之力で1つでも多く」というところが明確に伝わることが重要なのではないかと思いました。さらに「この1口でこのアウトリーチができます」、「何件実現できました」など目的を共有することが細分化されると寄付する側にとつても響いて形になっていくのではないかと思いました。
理事長	なかなか伝えることが難しく、伝わっていないと感じておりますが、企業訪問の際はそういう手法も考えたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。
理事	NHKでの広報に関しては、代金をお支払いされるようなものを宣伝することは難しい性質の組織のため、公演等の入場料がタダでなくてはいけないというルールはありませんが、放送での周知後に行かれてクレームが入ることはあります。一般的な参加料程度のものを紹介させていただくことはありますが、金額と一緒にご紹介することは法律的に難しいという事をご理

	<p>解いただければと思います。</p> <p>しかし、お金儲けではないことは明らかですので、文化活動・芸術活動をどういう形で支援が出来るかという事を皆さんと一緒に考えていこうと思います。</p> <p>公演があるときはたくさんの方が来られると思います。物産展ではないけれど、ホールでの演目後にそういうことは出来ないのでしょうか。</p> <p>北九州放送局が管轄している京築などは農産品が多く豊かなので、農家や組合の方に一般ブースをお貸しして売り上げの一部を収入とするような仕組みなど。最近郵便局でも一坪貸しをしたりしているかと思います。お客様が来てニーズが合えばパンフレットも渡せたり商談ができたりするようです。一坪でも人通りがあるところはチャンスなのではないかと思います。</p>
理 事	<p>全部は出来ないと思いますが、例えば福岡の歌舞伎座では広くそういうことをやっているかと思います。大きな公演や全国的、世界的に人気な方が来るときにはそういうことをやっていると思うので参考になるのでは。</p>
理 事	やることは悪いことではないと思うので頑張っていただきたいです。
理事長	<p>以前、財団でもトートバッグを製作し販売しましたが、販売可能な公演が主催公演に限られておりました。</p> <p>貸館の場合は、ホワイエから全ての空間が主催者側の利用となりますので、その中で何かを販売するという事は難しく、また、博多座とは当劇場が飲食禁止というところが異なります。</p> <p>しかし、ただ寄付をいただくだけでなく物販も考えながら自主的に収入を作っていくこと、許可が必要な部分はあるかと思いますが、貴重なご意見として模索させていただきたいと思います。</p> <p>また、寄付制度以外でも自主的な財源を確保できるような方法を勉強させていただきたいと思います。どうもありがとうございました。</p>
理 事	寄付の芳名は、個人と法人1年ごとでしょうか。
事務局	寄付や協賛をいただいてから1年間のご芳名記載という返礼をさせていただいております。
理 事	個人は500円から寄付が出来るという事でしょうか。
事務局	高額ではなく、ワンコインから文化芸術を支えていただこうという方たちの受け皿として設定させていただいております。

理事	今年から始められたのでしょうか。
事務局	今年から始めまして、7月頃に制度が整い、営業活動は9月以降にさせていただいております。
理事	例えば、私たちの中で入っていらっしゃる方はいるのでしょうか。
事務局	理事長以外の理事ではまだいらっしゃいません。内部の方にはなりますが、ご厚意で入っていただけるのであればお願ひいたします。
理事	財団の内部であると出来ないという事はありますか。
事務局	特にそういうルールはございません。
理事	自分たちが勧めるものであれば、まずは自分たちからだと思います。
理事長	企業様ないし、自分がという方がいらっしゃいましたらご協力いただければと思います。情報をいただければ訪問する等の形で対応させていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。 それでは今日の議題については以上になります。 事務局に進行を戻します。
事務局	正式な令和8年度事業計画につきましては、3月の理事会の議題としてご審議いただきます。 また、本日の議事録につきましては「定款第37条」により、本会議に出席した理事長および監事が記名押印することとなっております。 従いまして、中村監事、吉水監事には、後日記名押印をお願いさせていただきます。 それでは以上をもちまして、令和7年度第4回理事会を終了いたします。 役員の皆さん、ありがとうございました。 閉会。

7 事務局

総務文化部長・北九州芸術劇場支配人 山口 奈穂子
総務課長 大庭 麻由美
経営企画室長（兼務） 大庭 麻由美
劇場事業課長 川尻 くみ
音楽事業課長 西村 佳代子
埋蔵文化財調査室長 中村 利至久
音楽事業担当課長兼 竹内 剛
埋蔵文化財調査室事業担当課長 樋田 浩昭
舞台技術管理課長

8 議事録作成者

総務課長 大庭 麻由美